

(イメージ)

審議経過報告の概要

文化芸術の持つ価値の認識

日本人のアイデンティティ確立

経済力・外交力の基盤=文化力

国自らの責任において文化芸術を振興

戦略1 「文化芸術立国」の実現

- ・国民の文化芸術に対する理解増進
- ・文化予算の大幅拡充
- ・「新しい公共」による文化芸術活動支援

戦略2 支援手法の抜本的見直し

- ・文化芸術団体への支援制度の抜本的見直し
- ・「日本版アーツカウンシル(仮称)」の導入検討
- ・地域の核たる拠点への支援拡充、法的基盤検討
- ・美術品の国家補償制度の導入

戦略3 創造し、支える人材の充実

- ・若手芸術家等の育成支援の充実
- ・文化芸術を支える専門的人材の育成支援の充実
- ・無形文化財や保存技術の伝承者への支援充実
- ・大学等との連携強化

戦略4 子ども向け施策の充実

- ・芸術鑑賞機会、伝統文化等に親しむ機会の充実
- ・学校におけるコミュニケーション教育の充実

戦略5 次世代への確実な継承

- ・文化財の修理・防災対策の計画的推進
- ・文化財の公開・活用の促進
- ・各分野のアーカイブ構築促進、積極活用

戦略6 文化芸術による成長促進

- ・文化芸術による観光振興、雇用創出
- ・創造都市等による地域文化の振興
- ・文化芸術活動の成果を創造産業へ結付け
- ・衣食住に関する「くらしの文化」の振興

戦略7 文化発信・交流の充実

- ・海外公演、国際共同制作等への支援充実
- ・国際芸術フェスティバルの開催等の支援
- ・メディア芸術祭を世界的フェスティバルに
- ・文化財分野の国際協力の充実